

農業塾第9講 秋冬野菜の播種②と定植後の管理

今回は、秋冬野菜の播種②と定植後の管理について講習会を行いました。今回の秋冬野菜は、ユリ科とマメ科。ユリ科野菜の代表は玉ねぎ・にんにく・にら・ねぎなど、マメ科はそらまめ・えんどう・いんげんなど、どれも栄養価が高く保存のきく物が多いようです。



さっそく圃場にて実習。2班に分かれて管理作業と種まきを行いました。写真(左)は、前回(9月5日)種まきをしたにんじんを間引いているところ。健全で茎や葉が太いものを残します。同様に、だいこんも間引き。「抜き取っただいこんの葉も漬物や炒め物に使えるよ」と教えあい、塾生のお土産となりました。写真(右)は、ブロッコリーが大きくなった様子、葉っぱを傷つけないように、追肥を施し、中耕作業を行いました。同様に、キャベツ・にんじん・だいこんにも追肥と中耕をしました。どんどん大きくなってほしいものです。



講義と実習の間に、視察として隣接している農業研修生のトマト・いちごハウスを見学しました。JAの就農支援センターには現在トマト農家を目指す研修生3名・いちご農家を目指す研修生2名の合計5名が研修中です。「通常トマトは夏秋、いちごは春先に実りますが、ハウス栽培は温度と光を調節し、露地のない時期に合わせるため施設と技術が大切です。」と指導員より説明。

事務局の近本からひとこと

朝晩がずいぶん涼しくなってきましたが、圃場に植えた野菜たちはすくすくと成長しています。